

Complex Cardiovascular Therapeutics 2026

CCT2026

日程

2026年**10**月**29**日(木)～**30**日(金)

会場

神戸国際展示場
ポートピアホテル

Medical Staff



| Web URL | <https://cct.gr.jp/>



@CCTJAPAN



@CCT_info



MCCT2026 Medical Staff

本年も CCT Medical Staff Course を開催できますことを大変嬉しく思います。

医療を取り巻く環境は日々変化し、カテーテルインターベンション領域においても、技術革新やチーム医療の重要性がますます高まっています。そのような時代だからこそ、私たちメディカルスタッフには、専門知識や技術の向上だけでなく、多職種と連携しながら患者さんに最善の医療を提供する力が求められています。

CCT Medical Staff Course はこれまで、ライブデモンストレーションを中心に、現場で活かせる知識と経験を共有する場として発展してまいりました。ライブだからこそ伝わる臨場感、現場の判断、そしてチームワークの重要性を、参加者の皆様と共に体験できることが本コースの大きな魅力です。

今年も、第一線で活躍する医療スタッフや医師の皆様による講演・ディスカッションを通じて、明日からの臨床に役立つ学びと新たな気づきを提供できるよう準備を進めております。

本コースが、参加される皆様にとって知識や技術の向上だけでなく、職種を超えた交流と刺激の場となり、これからの医療を支える原動力となれば幸いです。

「ライブで伝える」というCCTの文化と情熱を次世代へつなぎ、メディカルスタッフが主役となって活躍できる未来を共に創っていきたいと考えております。

会場で皆様とお会いできることを心より楽しみにしております。

Program at a glance

10月29日(木)

10月30日(金)

	Medical Staff Theater 1	Medical Staff Theater 2	Medical Staff Theater 1	Medical Staff Theater 2
9:00				
10:00		循環器専用装置のAIを用いた 画質と被ばく低減の現状と工夫		血管内イメージングの 到達点と新たな展開
11:00	全ての職種の皆様にお届けする 基礎知識[前半]		全ての職種の皆様にお届けする 基礎知識[後半]	ミニレクチャー バイオトロニックジャパン株式会社
12:00		虚血をどう捉えるか? ～知っておくべき心筋虚血・ 機能的評価の基礎知識～		虚血性心疾患の 「共通(胸痛)言語」としての 心電図、心エコー検査のミカタ
13:00	ランチョンセミナー ボストンサイエンティフィック ジャパン株式会社	ランチョンセミナー アボットメディカルジャパン/合同会社	ランチョンセミナー 株式会社島津製作所	ランチョンセミナー ブラコックジャパン株式会社
14:00	VIDEO LIVE メディカルスタッフビデオライブ 胸痛の原因は? TAVIが先?PCIが先?	看護セッション1 ここがINEの腕の見せ所 ～継続看護で放射線皮膚障害を早期発見～	急変の事前察知 大好評企画が戻ってきました! 今何が起きている? カテ室で起こっていること気になりますか? 一急変の事前察知 心電図、エコーから 読み解くことができますー	本音で語る! 心臓CT検査、新技術のリアル
15:00	ミニレクチャー ミニレクチャー	看護セッション2 血管は繋がっている ～循環器で知っておきたい動脈・静脈のフットケア～	LIVE PCIライブ for Medical Staff 中継施設 豊橋ハートセンター	ミニレクチャー ミニレクチャー
16:00	LIVE EVTライブ for Medical Staff 中継施設 豊橋ハートセンター	合併症から患者さんを護ろう		看護セッション3 聞かせて!あなたが描くINEの未来
17:00		清潔助業務を再考する		看護セッション4 医療DX×育成
18:00				

※スケジュール及び内容は都合により変更されることがあります。

Medical Staff Theater 1

9:00-12:30 全ての職種の皆さんにお届けする基礎知識[前半]

カテに役立つ基礎知識をしっかりと聴いていただくセッションです。二部構成で術前検査や術中モニタリング、基本的なデバイスから補助循環まで、一連の基礎知識をくまなくお届けします。新人教育や中堅スタッフさんの振り返りなど、職種や経験を問わずぜひ御参加ください。

12:45-13:45 ランチョンセミナー

共催: ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

14:00-15:30 メディカルスタッフビデオライブ VIDEO LIVE

胸痛の原因は? TAVIが先? PCIが先?

大動脈弁狭窄症と高度冠動脈疾患を合併している症例を経験したことはいくつありますか?

今の胸痛の原因がどちらか迷いませんか。TAVIを優先するべきか? PCIか? 患者さんにとってどちらの治療を優先すべきか一緒に考えませんか? また、現在、TAVI治療の発展により多くの方にTAVI弁が留置されています。TAVI施設でなくても実際にTAVI後の患者さんのPCIを経験することが増えてきています。TAVI弁が留置されている患者さんの治療の注意点を知っていますか? 実際のビデオライブをまじえて一緒に勉強しませんか?

非常に怖い大動脈弁狭窄症と冠動脈疾患、同時に知ることができます。一度で二度美味しいビデオライブに参加し多くの知識を吸収しましょう。

15:30-15:45 ミニレクチャー

15:45-16:00 ミニレクチャー

16:00-17:30 メディカルスタッフ目線だからわかるEVTライブ LIVE

「他施設ではどうしてる?」その答えがライブでは見られます。EVT領域では、デバイスや治療手技が日々進歩し、それに加え施設ごと・術者ごとにさまざまなオリジナルの工夫がされています。本セッションでは、EVTライブをメディカルスタッフの視点でとってわかりやすく解説します。デバイスをどのような場面で選択し使うのか、何を考え今何が起きているのか——ライブ映像だからこそ伝わる「リアルな手技」を一緒に見ていきます。また、普段はなかなか聞くことのできない細かなコツや、施設独自の工夫など気軽に質問できるのも本セッションの魅力です。ぜひ皆さんからも日頃の疑問やアイデアをお聞かせください。明日からのEVT業務にすぐ役立つヒントがきっと見つかります。

Medical Staff Theater 2

9:00-10:30 循環器専用装置のAIを用いた画質と被ばく低減の現状と工夫

循環器専用装置では、AI技術を活用した画像処理や撮影支援機能が進展し、画質の向上と被ばく低減を両立する技術が注目されている。本セッションでは、臨床で各装置を使用する診療放射線技師が、AI技術の特徴を「画質と被ばく低減」の視点から紹介するとともに、臨床現場で実践している具体的な工夫について解説する。

10:30-12:30 虚血をどう捉えるか?

～知っておくべき心筋虚血・機能的評価の基礎知識～

虚血性心疾患の診療において、冠動脈の形態的狭窄だけでなく、心筋虚血の有無や微小循環障害、冠動脈機能異常を多角的に評価すること(虚血精査)の重要性が益々高まっています。本セッションは、カテ室スタッフ全般を対象とした、虚血精査の「基礎知識の横断的アップデート」を目的としたセッションです。各検査手法の基本原則、得られる指標の意味、臨床的意義、そして検査時の注意点について各エキスパートが分かりやすく解説します。

12:45-13:45 ランチョンセミナー

共催: アボットメディカルジャパン合同会社

14:00-14:45 看護セッション1

ここがINEの腕の見せ所

～継続看護で放射線皮膚障害を早期発見～

2026年度診療報酬改定では、医療安全対策加算において「カテーテルによる検査または治療における高線量被ばく」がB類型として明記され、医療被ばくへの適切な対応がこれまで以上に重要となっています。放射線業務に携わるINEだからこそ担える役割の一つが、継続看護で行う放射線皮膚障害の早期発見です。本セッションでは、カテーテル室、病棟、地域と、それぞれ異なる立場の演者が、実践を紹介します。これから継続看護に取り組もうと考えている施設から、すでに実践している施設まで、日々の看護に活かせるヒントを持ち帰っていただければ幸いです。

14:45-15:30 看護セッション2

血管は繋がっている

～循環器で知っておきたい動脈・静脈のフットケア～

血管は繋がっている! 動脈、静脈どちらも管理する事で循環は保たれます。フットケアも動脈硬化の問題だけではなく、心臓に血液が帰るための静脈の管理もとても大切です。第二の心臓筋ポンプも理解して! 循環器にも大切な動脈、静脈に関するフットケアを学んでみましょう。

15:30-15:45 ミニレクチャー

15:45-16:00 ミニレクチャー

16:00-17:00 合併症から患者さんを護ろう

熟練の先達に「合併症から患者さんを護るためのノウハウ」を熱く語ってもらうセッションです。合併症を予見するための知識を得ておくことで、万一の際にも冷静に対処できるようになりましょう。必要物品を万全に準備し、使い方を熟知しておくことで、いざという時に迅速に対応できるようになりましょう。

17:00-18:00 清潔介助業務を再考する

タスクシフト／シェアの推進に伴い、メディカルスタッフによる清潔介助業務が広く実践されている。業務の定着に伴い、慣れによる無菌操作の形骸化やカテ室特有の清潔・不潔の境界線(グレーゾーン)判断の曖昧さ、デバイス準備に伴うトラブルなど、安全管理および教育面の課題も顕在化している。このセッションでは清潔介助業務を単なる「物品の受け渡し」や「医師の補助」にとどめることなく、安全で良質な治療を達成するためのプロアクティブな専門業務として「再考」します。

Medical Staff Theater 1

9:00-12:30 全ての職種の皆さんにお届けする基礎知識[後半]

カテに役立つ基礎知識をしっかりと聴いていただくセッションです。二部構成で術前検査や術中モニタリング、基本的なデバイスから補助循環まで、一連の基礎知識をくまなくお届けします。新人教育や中堅スタッフさんの振り返りなど、職種や経験を問わずぜひ御参加ください。

12:45-13:45 ランチョンセミナー

共催: 株式会社島津製作所

14:00-15:30 急変の事前察知

大好評企画が戻ってきました!

今何が起きている?

カテ室で起きていること気になりませんか?

一急変の事前察知 心電図、エコーから読み解くことができますー

昨年、大好評だった企画を要望にお応えし再び!

職種を越えて患者さんを合併症から守りましょう!

カテ室で起こり得る急変や合併症はすべての職種が共有しておかなければなりません。このセッションでは、カテ室での心電図変化や圧変化、エコー所見から察知し読み解くコツをマスターして頂きたいと考えています。誰かが見ているだろうでなく自らチェックした変化に気が付くようにしてみませんか?また、原因が分からずカテ室で心エコーや血管エコーを施行することはありますか?何が起きているか画像から読み解いてみませんか?気になる所見や画像は一度見たらすぐに理解できます。カテ室に携わるすべてのメディカルスタッフの皆さんがいち早く変化に気付くことが患者さんを守り、チームとしての治療の始まりです。

15:30-17:30 メディカルスタッフ目線だからわかるPCIライブ **LIVE**

「他施設ではどうしてる?」2日目は豊橋からPCIライブをお届けします。石灰化病変やCTO病変などPCIの中でも難易度の高い症例では、考え方やデバイスの選択、ちょっとした工夫が治療を大きく左右します。「この病変では、なぜこのデバイスが使われるの?」「薬剤はいつ、どのように使っているの?」そんな普段のライブではなかなか聞けない疑問を本セッションではメディカルスタッフの視点でわかりやすく解説します。ライブ映像だからこそ伝わるデバイスの使い方やポイント、工夫などリアルタイムで学べる内容です。「こんなこと聞いてもいいのかな?」と思うような疑問も大歓迎です。明日からのPCI業務に役立つヒントがきっと見つかるはずです。メディカルスタッフはもちろん、医師、企業の皆さまにもお楽しみいただける内容です。ぜひ会場と一緒に学びましょう。

事前参加登録

受付期間 | 2026年10月4日(日)まで

事前参加登録費 2,000円

CCT2026ウェブサイトからご登録をお願いします。

CCT Website ➡ https://cct.gr.jp/2026/registration_ja.html

※学生の方の参加登録費は無料です。

当日学生証、またはそれに準ずるものをご呈示ください。証明書の呈示がない場合は、当日参加登録費をいただきます。事前の登録は必要ありません。

CCT事務取扱

〒440-0886 愛知県豊橋市東小田原町48番地 セントラルレジデンス201

TEL:0532-57-1275 FAX:0532-52-2883

E-mail: secretariat@cct.gr.jp

Medical Staff Theater 2

9:00-10:30 血管内イメージングの到達点と新たな展開

血管内イメージングは予後を改善する確固たるエビデンスを確立し、日々進化を続けています。本セッションでは、我々が日常的に駆使する「IVUS」と「OCT」それぞれが持つ特性を深く理解し、精密な組織性状評価によるDirect Stentingなどの戦略最適化から、強固な石灰化の見極めまでを整理します。そして最後に、両者の視点を融合させた次世代機「Dual Sensor System(DSS)」が切り拓く新たな次元を供覧し、続く複雑な石灰化病変に対する強力なデバルキングへといかにバトンを渡すか、CEの視点から紐解きます。

10:30-11:00 ミニレクチャー

共催: バイオトロニックジャパン株式会社

11:00-12:30 虚血性心疾患の「共通(胸痛)言語」としての心電図、心エコー検査のミカタ

心電図境界が異常に盛り上がっている昨今。

虚血性心疾患に関わる皆様。お待たせしました。むしろお待たせし過ぎたのかもしれませんが。

虚血性心疾患における共通の症状は何と言ってもやっぱり胸痛ですよね。

胸痛患者に行う臨床検査と言えば、これもやっぱり心電図、心エコー、採血と相場は決まっています。

ところが採血結果は数値なので誰でもわかるのですが、心電図、心エコーに関しては、メディカルスタッフの皆様も苦手な方が多いのではないのでしょうか。

そこで今回は虚血に関わるメディカルスタッフ全ての皆様の味方となるよう、エキスパートの技師が誰にでもわかるように心電図の見方、心エコーの見方を皆様に伝授します。

胸痛に関わる共通言語としての心電図、心エコーの見方を一緒に勉強して苦手意識を克服し、明日からのお仕事の意味方として役立つこと間違いなしの90分です!

12:45-13:45 ランチョンセミナー

共催: ブラッコジャパン株式会社

14:00-15:30 本音で語る! 心臓CT検査、新技術のリアル

近年、AI(ディープラーニング)を用いた画像再構成技術やモーションコレクション、フォトンカウンティングCT(PCCT)に加えて、CTによる遅延造影、ストラクチャー疾患に対する治療支援など、心臓CT領域の技術革新は目覚ましいものがあります。しかし、これらの「新技術」は実際の臨床現場でどこまで通用し、どのような課題を抱えているのでしょうか。本セッションでは、第一線で検査の改善に取り組むエキスパートによる現場の「本音(リアル)」を語り尽くします。本当に良いことばかりなのか、問題点はないのかなど、皆様のモヤモヤを解消し、次の心臓CTを皆で議論しましょう。

15:30-15:45 ミニレクチャー

15:45-16:00 ミニレクチャー

16:00-16:45 看護セッション3

聞かせて!あなたが描くINEの未来

INEとしてどんな看護がしたいのか、どんな看護師でいたいのか…仕事観を持つことは、判断に迷った時の心のコンパスとなり、自分の成長にも影響するといわれています。今回はカテ室看護経験が豊富な演者の皆さんの思いを聞きながらINEの未来について会場のみなさんと語っていきましょう。

16:45-17:30 看護セッション4

医療DX×育成

近年、デジタル技術の発展は目覚ましく、日々の生活や業務に欠かせないものとなっています。特に進歩の著しい生成AIは、人材不足の解消や時間外労働の削減といった労働環境の改善にとどまらず、スタッフ育成への活用でも大きな注目を集めています。AIは知識の習得や教材作成、リフレクション(振り返り)などを支える新たなパートナーであり、効果的な教育ツールとしての可能性を秘めています。本セッションでは「医療DX×育成」をテーマに、看護現場での具体的な活用事例を紹介し、さまざまなデジタルツールへの知見を深めます。これからの時代におけるスタッフ育成のあり方について、一緒に考えてみませんか。